

## 第1号議案 2019年度事業・活動報告

### 1. 古着類の回収とアル・カイル事業グループ（以下AKBG）への送り出し

#### 1) 古着・毛布などの回収 2019年度計画120トン：実績112.2トン（計画対比93.5%）

	回収期間	回収量	参加人数
1回目	2019年9月1日～12月31日	47,367.9kg	5,439人
2回目	2020年1月1日～5月30日	32,862.8kg	4,270人
3回目	2020年6月1日～9月30日	31,971.8kg	5,130人
	合計	112,202.5kg	14,839人

2019年度の回収は、計画を120トンとしました。センターでの回収受付期間は年に3回設けました。回収実績は112.2トンとなり計画に届きませんでした。前年度対比は98.8%でした。

2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症への対応のために、計画していたイベン

ト回収が実行できませんでした。また、パキスタンへのコンテナ送り出しが実行できるか予測できなかったため、センター倉庫の在庫スペースを確保しておく必要があり、3回目の回収では受付品目を減らしました。回収協力団体も一部、取り組みを中止したこともあり回収量は計画に達しませんでした。送り出しは計画した4回を実施することができました。

会員・支援メンバーの方からの送付は9,696kgで、回収量の8.6%（延べ1,280人）でした。3回目の回収からは受付期間を延長し、ほぼ通年で回収に参加できるようにしました。ご協力ありがとうございました。

笠間市による回収協力は、2004年度から継続して行なっていただいています。

\*協力団体の方々からの回収は「6. 多様な団体との連携」及び資料「2019年度団体別回収集計」をご覧ください

#### ①新しい回収協力団体の参加

常総生協の取り組みが2019年9月から始まり、約3.2トン回収されました。

#### ②センター周辺の人たちや出展イベント来場者への広報

千葉センター、東葛センターの周辺の人たちへの広報は、センターでのポスター掲示やセンター開催のチャリティバザールなどの地域配布チラシで行ないました。また、年末には特別に回収受付期間を設けチラシで広報し、千葉と柏の2つのセンターあわせて1,141.5kgの回収がありました。2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、センターへの持ち込み受け付けを中止しました。

#### ③イベントでの回収

イベントでの回収は、回収協力団体で企画していただいた学習会や、地域団体主催のイベント会場などで行ないました。また、販売協力団体「おおなみこなみ」が開催したイベントで、衣類等の販売とついでに回収を行ないました。あわせて4,116.3kg（10回実施）集まりましたが、2020年3月以降のイベントが中止となり昨年の50.3%の実績となりました（前年度は16回実施し、8,184.6kg回収）。

#### ④新しい回収方法の検討

婦人礼服メーカーの店舗で行なわれるバッグなどの回収企画に協力しました。新しい回収方法を宅配便の会社と相談をしましたが、作ることはできませんでした。

#### ⑤その他

千葉市に本社がある会社の社会貢献企画として、社員を対象にした回収の取り組みが実施されました。市民ネットワークわかばの協力で実施した回収は反響が大きく、1トン以上の回収がありました。（特非）としまNPO推進協議会と東京豊島東ロータリークラブのコラボ企画で回収に取り組む計画が進みました。昨年度に続き、レンタルリネンの複数の会社から協力をいただき、毛布などをパキスタンへの輸出用に回収しました。

#### 2) AKBGへの古着送り出し

計画した4回の送り出しを実行しました。第68回は新型コロナウイルス感染症の拡大のためにカラチ港の物流が滞っていたため、約1カ月延期して行ないました。第69回はカラチ港到着後に起きた豪雨被害の影響を受けたために港からの搬出が1ヶ月程遅れました。

1回あたりの送り出し量の平均は23,189kgで前年度（22,760kg）より増加しました。

### 3) 古着販売事業

JFSAからは4本のコンテナを輸出しました。グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部からは2本のコンテナが輸出されました。コンテナはすべて卸業者ワリー氏・ニアーズ氏に販売されました。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から事務局派遣が実行できなかったため、コンテナの受け渡し確認と卸価格交渉への参加はできませんでした。AKBG事務局カユーム氏がコンテナの荷降ろしに立ち会い、報告を受けました。

2019年度のJFSAのコンテナの卸価格平均(第67～69回)は105ルピーとなり、前年度(102ルピー)を上回りました。卸業者ニアーズ氏の主な販路がアフガニスタンにあり、新型コロナウイルス感染症による市場への影響が少なかったことから卸売価格の低下は免れました。第69回については豪雨被害による影響を受け、港での留置料や輸送経費がかさむ結果となりました。前年度よりさらにルピーの価値が下落し、ドル建てのコンテナ経費が増すことになりました。AKBGの粗利益は前年度よりも僅かですが増える見込みです。

グリーンコープからの送り出しは新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から積み込み日程を延期し、今年度は2回となりました。

寝具レンタル業者からは継続して回収への協力を得られ、輸出量確保と布団類の現地需要を確認することができました。

#### 【資料】 JFSA 第 67 回、第 68 回、第 69 回、第 70 回 AKBG 古着販売事業収支

	第 67 回(2020 年 3 月到着)	第 68 回(2020 年 6 月到着)	第 69 回(2020 年 9 月到着)	第 70 回(2020 年 11 月到着予定)	合計
古着等送出し量(kg)	22,844	22,314	23,407	24,190	92,755
<b>収入合計(ルピー)</b>	<b>2,444,308</b>	<b>2,276,028</b>	<b>2,492,845.5</b>		<b>7,213,182</b>
①卸販売(ルピー)	2,444,308	2,276,028	2,492,845.5		7,213,182
卸売価格	107 ルピー/kg	102 ルピー/kg	106.5 ルピー/kg		
*レート	1 ルピー:0.70 円	1 ルピー:0.65 円	1 ルピー:0.62 円		
<b>経費合計(ルピー)</b>	<b>1,774,316</b>	<b>1,808,551</b>	<b>1,843,933</b>		<b>5,426,800</b>
①日本サイド(ルピー)	1,035,943	1,098,515	1,156,331		3,290,789
②パキスタンサイド(ルピー)	738,373	710,036	687,602		2,136,011
*1kg 当たり経費	77 ルピー/kg	81 ルピー/kg	79 ルピー/kg		
<b>純利益(ルピー)</b>	<b>669,992</b>	<b>467,477</b>	<b>648,913</b>		<b>1,786,382</b>
<b>純利益(円建て)</b>	<b>468,994</b>	<b>303,860</b>	<b>402,326</b>		<b>1,175,180</b>

前年度純利益(第 63～66 回) 2,350,019 ルピー

#### 【資料】 グリーンコープ第 22 回、第 23 回 AKBG 古着販売事業収支

	第 22 回(2020 年 3 月到着)	第 23 回(2020 年 11 月到着)	合計
古着等送出し量	23,978		23,978
<b>収入合計</b>	<b>2,086,086</b>		<b>2,086,086</b>
①卸販売	2,086,086		2,086,086
卸売価格	87 ルピー/kg		
*レート	1 ルピー:0.69 円		
<b>経費合計</b>	<b>1,823,353</b>		<b>1,823,353</b>
①日本サイド	1,167,126		1,167,126
②パキスタンサイド	656,227		656,227
*1kg 当たり経費	76 ルピー/kg		
<b>純利益(ルピー)</b>	<b>262,733</b>		<b>262,733</b>
<b>純利益(円建て)</b>	<b>181,285</b>		<b>181,285</b>

前年度純利益(第 19～21 回) 1,489,360 ルピー

## 2. AKBGとの事業連帯の推進とアル・カイルアカデミーの自立支援

### 1) JFSA海外古着販売

台風や新型コロナウイルス感染症等、全体へ影響を及ぼす事態に求められる対応は、個別に各担当が現場の状況に合わせて迅速で丁寧に行なうことが望ましいと判断し、共有した仕組み作りを目指す案を変更して各担当事務局が対応に努めました。販売機会の拡大についても、同様に各担当がそれぞれの状況から判断して全体での取り組みは行なわず、今期は好調な店舗での販売に注力し、千葉店、柏店ともに販売目標を達成しました。

### 2) 縫製工房 (kar-khana カルハナ事業)

kar-khana名義でのイベント出店を主軸として宣伝広告や販売を行なっていく計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により4月以降のイベント中止が相次ぎました。そのため、販売経路の確保のためにオンライン上での販売や、委託、買取販売増加の検討を行ないましたが、具体的な実行には至らず、予算を達成することができませんでした。

新たな試みとして日本のお客様からの商品製作の受注の際、日本で商品のパターンのみ製作を行ない、それらを国際便で発送し、パキスタンでサンプル製作を行ないました。細かい修正点などの確認は、zoomを用いてオンライン上で行ないました。

縫製工房の生産体制においては、職人歴30年ほどの男性スタッフが新たに加わったことにより、人数だけでなく、商品ミスの減少など他のスタッフの技術向上にもつながりました。

## 3. 国内事業

### 1) センター業務

#### ① 千葉センター

新型コロナウイルス感染症による影響からアルバイトの雇用調整を行ないましたが、状況の変化に応じて人員配置を見直し作業に取り組みました。作業場のレイアウトを変更し作業順序に沿った動線を取り入れました。

コンテナ送り出し積み込みは新型コロナウイルス感染症の予防のためにボランティア参加者の人数を制限し、フォークリフトをレンタルして行ないました。

選別協力団体が定期的に選別作業に参加しました。コンテナ送り出し積み込みやチャリティバザール、軒先市（センター軒先にて毎月第二土曜日開催）にも参加しました。千葉ダルクの農場の野菜の店頭販売を始めました。

#### ② 東葛センター

新たに選別協力団体の受け入れや、コロナ禍における両センターの作業分担の見直しの中で昨年度から大きく作業内容が変わりました。そのため、昨年度の数字を用いた作業のマニュアル作りは実施できませんでした。

### 2) ショップ販売

#### ① kapreカブレ千葉店

2020年3月以降はコロナ禍となり、予定していたセールやイベントは行なえませんでした。オンラインストアの開設や、公式ラインの開始、野菜の販売など新しいことに取り組みました。また、お客さんとのコミュニケーションをより細やかに取ることを心がけました。昨年度と比べて来店者数が増え、売り上げ目標を達成することができました。特に、10代・20代の若者の来店が大きく伸びました。

千葉店の店名を「CHARKHA BAZAAR チャルカバザール」へと変更しました。店内の改装を行ない、kar-khanaの展示販売スペースを設けました。

屋外に常設の屋根を設置し、雨天時でも店舗スペースとして活用できる場としました。設置費用の一部には、2012年「JFSA紡ぎ債」を募集した際に、寄付としていただいたお金を活用しました。

## ②kapreカブレ柏店

指南書の作成を目指しましたが、コロナ禍による特殊な状況に合わせた対応を優先し、汎用版の作成は一部にとどめて引き続き来期に取り組むこととしました。情報収集に努めてそれを活かした店舗運営を目指す点については、状況が変わった3月以降で特に力を入れて行ない、様々なことができなくなる中、柏店でできること、行なっていきたいことを考慮し、SNSでの情報発信やリモートでの輸入古着買付、リメイク作業など、新たな取り組みを行ない、店舗とオンライン販売については予算を達成することができました。

### 3) 街商販売(フリーマーケット、その他)

大井競馬場、上野公園、千葉銀座通り、赤羽公園、世田谷公園などのフリーマーケットに出店しました。2020年3月頃から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、フリーマーケットやイベントの開催が自粛されました。売上目標を達成するために街商担当者が柏店からオンライン販売の方法を学び、千葉店でもオンライン販売を開始しました。実店舗のおすすめコーナーでも併売し、またSNSによる情報発信を積極的に行ない実店舗来店へつなげました。

2019年11月に支援バザールをJR船橋駅北口デッキにて開催しました。2020年4月は新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を考慮し、開催を中止しました。

### 4) 販売協力団体

アースマーケット(千葉市)、おおなみこなみ(千葉市)、中川クロス(市川市)での委託販売を行いました。アースマーケットは、客層やお客さんの要望に沿った品揃え、こまめな商品補充を行なうことで、売り上げを昨年度より約2割伸ばすことができました。おおなみこなみ、中川クロスは、常連さんは付いてきているものの、新型コロナウイルス感染症の影響で休業していた期間があったことや、予定していた衣類などの回収・販売イベントを行なうことができなかったことにより、売り上げ目標を達成することができませんでした。

### 5) 市民活動と連動した企画

①協力団体主催の企画、市民活動と連動した様々な企画へ参加しました。3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活クラブ虹の街デポの出店以外は開催自粛となりました。

#### ②実行委員会参加企画

- ・ぼっぼの市：2019年11月に開催しました。一般出店77店、フリマ40店参加しJFSAの古着販売売上は76,700円でした。2020年4月は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して開催を中止しました。
- ・アースデイちば：例年4月に開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止しました。
- ・新松戸中央公園チャリティーフリーマーケット：秋は雨天中止、春は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

#### ③JFSA主催バザール企画

千葉センター、東葛センターが各々2019年12月に開催しました。例年は年2回開催していますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、2回目の開催は中止しました。

#### ④リサイクル着物販売企画

※着物や帯などは現在回収を行なっておりません。過去に回収し、保管していた在庫の選別を終え、下記の企画で販売しました。また一部の着物は業者へ売却し、アメリカやデンマークの業者へ輸出されました。

- ・和衣マルシェちば@まる空間：Tomo's Caféとコラボ開催しました。カフェの常連客もいて、相乗効果となっています。2020年4～6月は開催中止しましたが、7月から再開しました。
- ・実行委員会企画(回転木馬、ぷちそら、JFSA)：2月に着物市(生活クラブ虹の街スペース渚)を開催しました(売上48,000円)。生活クラブ虹の街にチラシ配布の協力いただき、またホームページやSNSでの告知を行ないましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、効果に結びつきませんでした。
- ・FRうらやす企画：2020年3月に2日間販売を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止になりました。

#### 4. 広報活動と会員の参加

##### 1) 会員数の増減

回収に参加した方には、回収の案内、古着のゆくえについてのお知らせといっしょに入会の呼びかけを郵送しました（のべ

	会員数 (うち新規入会数)	前年比	口数	前年比	計画 口数
会員（個人）	148名（17名）	+5	158口	+3	160口
支援メンバー（個人）	1,177名（205名）	+77	1,322口	+87	1,350口
会員（団体）	11団体（0）	-1	11口	-1	11口
支援メンバー（団体）	8団体（1）	+3	11口	+6	5口

約11,900人）。ホームページにも入会の案内を掲載しました。新規入会者は222名（2018年度140名）で、そのうちの約4割は年度後半の2020年4月以降の入会でした。継続率は88.7%（2018年度87.7%）でこれまででいちばん高くなりました。計画には届きませんでしたが、新しく回収協力団体となった団体のメンバーの方の新規入会者が増えたこともあり、会員数は前年度より82人増えました。

2019年11月に行なった定期総会の後の活動報告会では、参加した会員、支援メンバーの方たちから事業や運営について積極的な意見が出されました。2020年4月以降に複数の交流会企画を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の中で実施できませんでした。

会員、支援メンバーの回収受付期間を延長し、ほぼ通年で回収に参加できるようにしました。

##### 2) 広報活動

会報を年3回発行しました。回収案内を回収期間が始まる約1か月前に発送しました。発送には送っていただいた切手などを郵送料として使用しました。2020年1月からの回収案内には、書き損じはがきや切手を募るチラシを同封しました。2020年10月からの回収案内には、男性衣類がパキスタンでどのように活かされているのか、JFSAに届いてからパキスタンの店頭で販売されるまでの流れを紹介しました。

ホームページはスマートフォンでの閲覧が増えていること、回収のページへのアクセスが最も多いことから、内容及びレイアウトを変更しました。パルシステム千葉のインターネットでの注文サイトに回収のバナー広告を掲載していただきました。ホームページは、回収のページ、会報のページなどの更新になりました。ホームページを見た方からの回収参加人数は減少しました。

##### 3) サポーターグッズ

2020年3月の派遣時にサポーターグッズについてムザヒル校長・タスニーム副校長と話し合いの場を持ちました。しかし、2019年度はどのようなものが良いか話し合うことができず、学校が休校となったためその相談をすることができませんでした。

##### 4) ボランティアの参加

コンテナ送り出し積み込み、会報や回収案内の発送作業、フリーマーケットやイベント、チャリティバザールでの準備片付け、販売などで協力がありました。和服の専門知識のある方たちのグループ『和（なごみ）』が整理やイベントでの販売に協力いただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、2020年3月以降のコンテナ送り出し積み込みや発送作業の際はボランティア参加の呼びかけを行なうことができませんでした。

##### 5) 活動報告会・交流会など

2019年度も団体会員、団体支援メンバーなどの協力を得ながら、様々な場所で活動説明会、販売、回収を行ないました。2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、開催が中止となるイベントや企画が多くありました。

##### ●活動報告会・交流会

2019年

【10月】

16日 常総生協 選別体験

18日 生活クラブ虹の街職員研修 千葉センター

25日 FRうらやす総会

【11月】

1日 都小学校まち探検

2日 常総生協 生協まつり

4日 本牧フロント 衣類などの回収イベント

8日 生活クラブ虹の街職員研修 松戸センター

13日 生活クラブ茨城 牛久センター交流会

18日 生活クラブ茨城 水戸センター交流会  
19日 生活クラブ虹の街 理事研修会  
20日 定期総会  
21日 麗澤大学講師  
26日 生活クラブ茨城 取手センター交流会、淑徳大学講師  
27日 パルシステム千葉 千葉センターつどい

2020年

【1月】

18日 生活クラブ虹の街新年会  
24日 パルシステム千葉 野田センター選別体験・活動説明会  
27日 幕張インターナショナルスクール来訪

【3月】

2日 生活クラブ茨城 水戸センター交流会  
3日 常総生協 選別体験  
16日 生活クラブ茨城 牛久センター交流会

【6月】

6日 NPOクラブ定期総会

【7月】

24日 「キッズ本格おしごと体験」イオンモール 柏

### ●市民活動と連動した企画（回収/販売）

2019年

【10月】

5日 和衣マルシェちば  
8日 「DASHA IN」国際交流フェス@千葉中央公園  
12日 エコメッセちば2019  
19日 とんぼ舎さくら直販会  
27日 行徳まつり（協力：FRうらやす）

【11月】

2日 和衣マルシェちば  
5日 パルシステム千葉東金センターまつり  
3日 いちかわ市民まつり（協力：FRうらやす）  
9日 生活クラブ虹の街ぐるっと長野をまるっと食べるぞ大作戦フェスタ軒先市、  
浦安市民活動フェスティバル（協力：FRうらやす）  
9日～10日 大古着市（船橋駅北口デッキ）  
16日 さんとめどんぐりむら秋まつり（生活クラブ埼玉） とんぼ舎さくら直販会  
17日 ぼっぼの市  
30日 あらかわ再発見2019

【12月】

1日 チャリティバザール（JFSA千葉センター）  
7日 和衣マルシェちば  
8日 kapre冬のバザール（JFSA東葛センター）  
21日 ベイタウン朝市

2020年

【2月】

8日 和衣マルシェ、軒先市  
15日 ベイタウン朝市  
16日 リサイクル着物市（生活クラブ千葉センター スペース渚）

【3月】

7日 和衣マルシェちば 14日 軒先市

【5月】

24日 市民ネットワークわかば事務所で衣類などの回収

【7月】

4日 和衣マルシェちば 11日 軒先市

【8月】

1日 和衣マルシェちば 8日 軒先市

【9月】

5日 和衣マルシェちば 12日 軒先市

## 5. 研修

各担当で個別に行ない、全体やグループでの実施、共有には至りませんでした。

・柏店 3月以降で営業を兼ねて12社の取引先顧客や紹介を得た異業種起業を訪問し、現況や展望などを聞かせてもらい、スタッフと共有して店舗運営に活かせるよう取り組みました。

・千葉センター 社会福祉法人生活クラブ風の村虹と風のファームの農場の手伝いを千葉ダルクと協力して行ないました。その後、両団体の生産する野菜の店頭販売の取り組みにつながりました。

## 6. 多様な団体との連携

### 1) 地球市民交流基金アーシアン

2019年12月、千葉センターのチャリティバザールに出店していただきました。今年度はアル・カイルアカデミーとの交流会の機会を持てなかったため、縫製科への寄付金と給食費用のカンパは直接送金をしていただきました。

縫製工房にオーダーをいただいていた商品の納品を2020年2月に行ないました。また、松葉町の店舗で

はkar-khana商品の一部取り扱いを始めていただきました。

## 2) NPOクラブ

NPOクラブが運営する「多世代交流拠点おおなみこなみ」で古着の委託販売を行ないました。年末には「おおなみこなみ」で回収を実施し4日間で147.4キログラムの衣類などが寄せられました。2020年4月にも実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止となりました。

NPOクラブから要請を受け、「千葉県中小企業再建支援金」の対象にNPO法人格も適用するための意見書に同意し、県への提出に同行しました。

## 3) ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

千葉市での着物市を(企)ワーカーズ・コレクティブ回転木馬と一緒に行ないました。選別協力団体として、(企)ワーカーズ・コレクティブ紙ふうせんが新たに加わり、東葛センターで作業を行ないました。

## 4) ファイバーリサイクル四街道、ファイバーリサイクルうらやす、ファイバーリサイクル佐倉

・ファイバーリサイクル四街道・・・活動収益金の一部を寄付していただきました。アル・カイル事業グループ縫製工房への寄付をいただきました。コンテナ送り出し積み込みボランティア、地域イベントでの販売に協力していただきました。

・ファイバーリサイクルうらやす・・・総会で活動報告をしました。活動収益金の一部を寄付していただきました。アル・カイルアカデミーのコンピュータークラスへの寄付をいただきました。地域イベントでの販売、コンテナ送り出し積み込みボランティアに協力していただきました。

・ファイバーリサイクル佐倉・・・活動収益の一部を寄付していただきました。アル・カイル事業グループ縫製工房への寄付をいただきました。

## 5) 団体会員、団体支援メンバー

回収協力団体では回収の広報を定期的にしていただき、メンバーの方たちの回収参加、イベントなどの出展、報告会の開催などに協力していただきました。2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために予定していたイベントや招日交流などができなくなり、例年行なってきたいくつかの企画が実行できませんでした。

① 大地を守る会(回収協力団体)・・・コンテナ送り出し積み込みボランティアに協力していただきました。

② パルシステム千葉(回収協力団体)・・・イベント出展、回収&選別体験企画開催、センター祭り&回収、パキスタンカレー講習&活動報告会開催に協力していただきました。

③ 生活クラブ・東京(回収協力団体)・・・広報誌に記事を掲載して回収のお知らせと活動を紹介していただきました。

④ 生活クラブ虹の街(回収協力団体)・・・配達便による回収(年間3回)、デポー(生活クラブの店舗)での回収(年間6回)と販売、コンテナ送り出し積み込みボランティアに協力していただきました。ぽっぽの市に出店していただきました。

⑤ ポラン広場(回収協力団体)・・・回収に協力していただきました。

⑥ 社会福祉法人生活クラブ風の村・・・事業所で開催される地域イベントに出店しました。

JFSA千葉ショップの「軒先市」には、「虹と風のファーム」に継続して出店いただき、店頭での野菜販売を始めました。

⑦ はぎれくらぶ麻の葉・・・和服整理と販売のボランティア、和服販売企画に協力していただきました。

⑧ 生活クラブ茨城(回収協力団体)・・・配達便による回収とその後の仕分け&交流会開催、学習会の開催に協力していただきました。

⑨ グリーンコープ・・・2020年3月に役職員の方がパキスタンを訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防措置で、パキスタン政府が学校の休校を決めたために急遽取りやめることになりました。

⑩ パルシステム茨城 栃木(回収協力団体)・・・学習会&回収・選別体験企画開催に協力していただきました。

⑪ 生活クラブ埼玉(回収協力団体)・・・イベント出展に協力していただきました。

⑫ 常総生協(回収協力団体)・・・2019年9月より配達便による回収の取り組みが始まりました。選別体験企

画開催、イベント出展に協力していただきました。

#### 6) 他のNPO/NGOとの交流

今年も児童労働反対世界デーキャンペーンは行なわれていたものの、チャリティバザールの開催中止により参加しませんでした。企業組合あうんとはお互いが主催するイベントに参加しました。

#### 7) 企業や団体、学校との協力関係

千葉センター・東葛センターの各バザールや千葉センターの軒先市開催時に駐車場をお借りしました。広告代理店アド・ウォークの企画する商業施設(神奈川県)での衣類、毛布、バッグなどの回収企画へ参加しました。寝具のリース企業から、毛布、ベッドシーツなどの寄付がありました。幕張インターナショナルスクール6年生が授業の一環として衣類などの回収を行ない、千葉センターを来訪しました。また、社会貢献活動の一環として、エー・シー・エス債権管理回収株式会社が衣類などの回収を行ないました。

#### 8) APF(互恵のためのアジア民衆基金)との連携、AKBGによる新規事業への協力

APF 総会(於フィリピン)にAKBG事務局のカユーン氏とともに参加しました。APFメンバーのハンサリム連合は、4回目の古着回収を実施しました。前回に続き韓国内で販売し、売上がアル・カイルアカデミーの支援、新規事業資金、ハンサリム連合の交流費に充てました。AKBGによる新規事業の準備に引き続き協力しました。

#### 9) 社会福祉法人グリーンコープ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、リニューアルしたグリーンコープファイバーリサイクルセンターの訪問と、相互にセンターを訪問し協議の場を持つ計画は実行できませんでした。

#### 10) ユニバーサル就労ネットワークちば

会員として参加しました。

### 7. アル・カイルアカデミーの教育・連帯事業に関わるパキスタンの人々との交流

#### 1) 招日

今年度はコロナ禍により招日を実施することができませんでした。

※7月のオンライン理事会にムザヒル校長も参加し、近況の報告をしていただきました。

#### 2) 派遣

事務局はそれぞれ目的に沿った派遣を行ないました。

主な派遣目的…AKBG事業活動の推進、アル・カイルアカデミー教育事業の確認、輸入古着の仕入れ、協力団体・同行者のガイド

##### 【派遣期間】

2019年11月22日～12月5日:田辺航太郎派遣

2019年12月23日～1月8日:小島派遣

2020年2月26日～3月7日:田邊、桑山派遣

2020年3月11日～3月15日:依知川派遣:西村氏(元JFSA事務局)、片桐氏(JFSA理事)、鈴木氏(ユーズリサイクルセンター)、安蒜氏が同行しました。

2020年3月中旬以降、新型コロナウイルス感染症による渡航制限や現地入り後または帰国後の隔離が求められるなど、これまでのような形での派遣計画が立てられない状況となりました。

### 8. 危機管理の充実

#### 1) 国内事業

定例のスタッフミーティングを行ない安全管理に努めました。新型コロナウイルス感染症の予防策を店舗や作業場、主催イベント等において定め実行しました。千葉センターに倉庫内の換気と暑さ対策のために換気扇を設置しました。

#### 2) 海外事業

これまで同様、派遣に際してはマニュアルに沿った危機管理を行ないました。新型コロナウイルス感染症への対応を含むリスクマネジメントが必要となっています。